

ゆうべつ

令和 2 年 8 月発行

第 35 号

発行 社会福祉法人

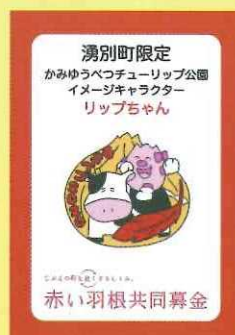
湧別町社会福祉協議会

社協だより

北海道スタイルで再開
ふれあいサロンで地域交流



新型コロナウイルス感染症の
拡大防止対策として長期休所し
ていたふれあいサロンあいが6
月12日に再開し、待ちわびた地域
住民が多く参加しました。
感染予防対策をしながら他の
サロンも再開し、地域の集いが少
しずつ戻ってきています。
サロン活動について、詳しく
は、次頁の記事をご覧ください。



ご当地ピンバッジ
好評頒布中です！
赤い羽根共同募金事業
の、湧別町第4弾ご当地ピ
ンバッジが完成しました。
皆さんのご協力をお願
いいたします。
◆頒布募金額
ひとつ500円
◆頒布場所
・社協事務所（本所）
・社協事務所（支所）
・かみゆうべつ温泉
・チューリップの湯
・（有）イワイ

コロナに負けない！地域の集いの場を再開 ふれあいサロンに、再び灯を

「みんなに会えてよかった。元気が出た」 6月26日、1月の大雪による休止を含め、6か月ぶりに再開したふれあいサロンゆう。参加者の言葉が印象的でした。

2月下旬から、すべてのふれあいサロンが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として休止していましたが、道の緊急事態宣言解除を受けて、6月から再開しています。

町内のふれあいサロンが、長期の活動休止を経験したのは初めてのことです。「密集・密接・密閉」を伴うサロンは、ウイルス感染症のリスクが高いコミュニティに相当します。これまで『地域住民が集まり、楽しい時間を過ごすこと』の重要性をもって推進してきたサロン事業にとって、活動自粛の長期化は、とても苦しいことでした。

コロナ禍の休止期間中に各サロンのボランティアは、それぞれ「今できる活動」を考え、参加者宅の訪問や声掛け、ふれあい郵便の送付などを実施し、これまでの地域

のつながりを守る活動を自主的に展開していました。そして、地域住民の大切な集いの場として『今だからこそ、これまで以上にサロンを盛り上げていきたい』と、様々な感染症予防対策を講じながら運営を再開しました。地域住民の『サロンに行きたい。みんなに会いたい』という想いが重なり、地域実状を踏まえながらの再始動です。

高齢者の多くに、感染予防対策や外出自粛等による、いわゆる『コロナ疲れ』が見受けられますが、サロンの再開が明日への活力につながっているようです。



ボランティアによる備品の消毒作業。
(ふれあいサロンきずな)



コロナ対策をしながら、サロンを再開した。(左・ふれあいサロンゆう、右・ふれあいサロンとも)